

広報

さよう 12

Vol.219
令和5年(2023)

人と地域 行政をつなぐ まちの総合情報誌

Sayo Town Public Relations



特集

共に暮らし 支え合う

このまち

ふるさと

佐用を日本の古里に

特集

共に暮らし 支え合う

このまち 佐用を日本の古里に
ふるさと

「最近、外国人よく見るようになったなあ」「ZUIの国の人なんやろ」
ここ数年、こんな声をよく耳にします。
以前から、町内の企業に勤める外国人のみならず（以降、外国人と表記します）を見かけることはありましたが、転機となったのは5年前。閉校した久崎小学校の跡地に「佐用日本語学校」が開校されたことで、佐用町で暮らす外国人が急増しました。ほかにも、町内に移住して飲食店を開業したり、結婚で移住したりする外国人も増え、佐用町も国際色豊かになってきました。
今月号では、「町内の外国人の今」を知り、佐用町で共に暮らし、お互いに支え合う未来を考えます。



真盛集落で黒枝豆の収穫を手伝う佐用日本語学校の留学生

Pick up

日本の将来推計人口

2070年には人口の1割が外国人に

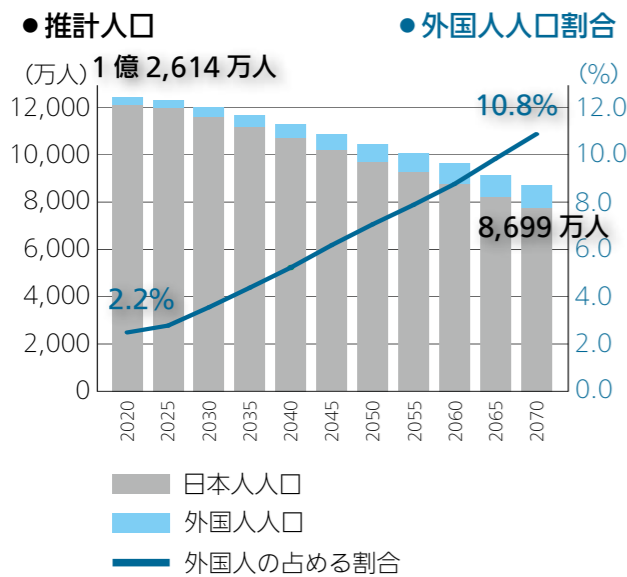
令和5年4月に厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が「2070年までの日本の将来推計人口」を公表しました。

日本の総人口は、戦後増加を続け、2008年(平成20年)の1億2,808万人をピークに減少傾向となりました。推計によると、少子化の影響などから、今後も人口は減少し、2070年には現在の人口1億2,615万人から約3割減少し、約8,700万人になるとされています。

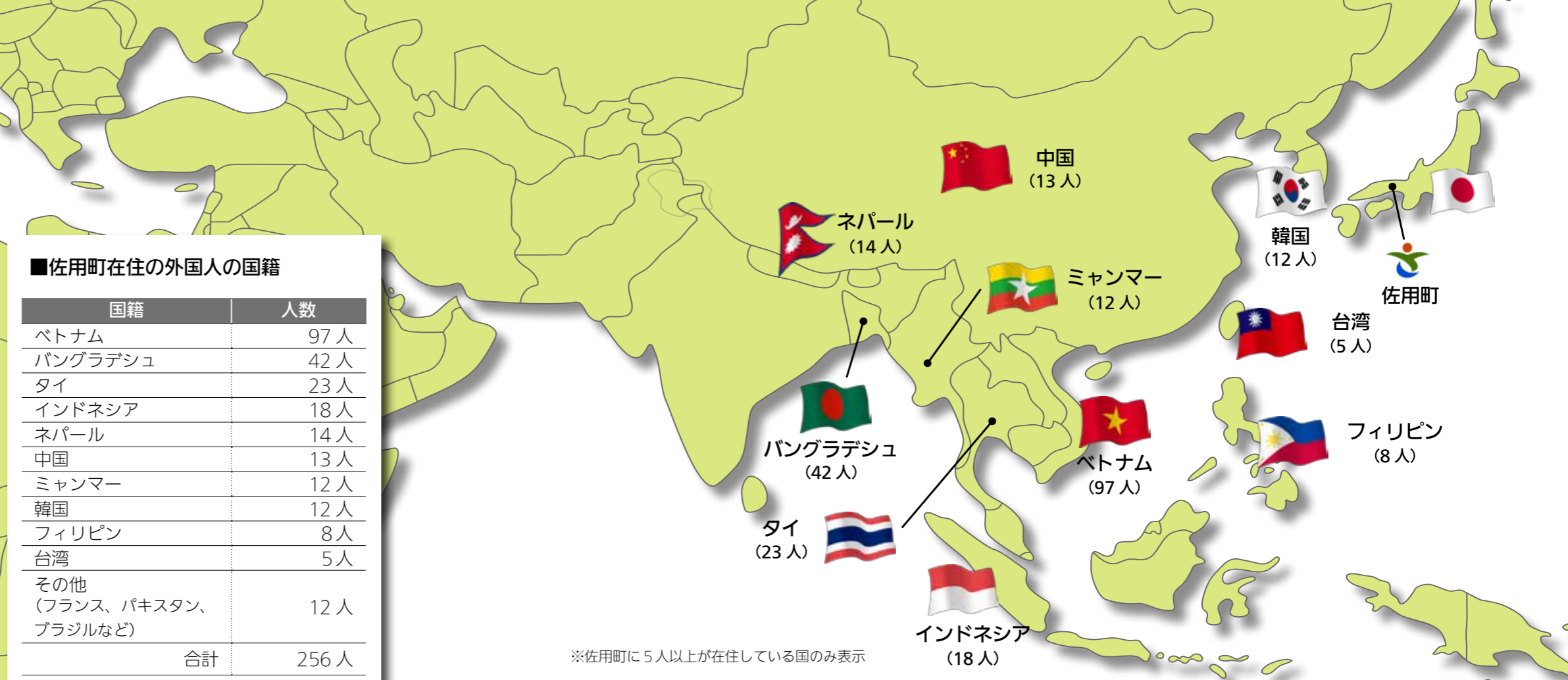
一方、外国人の人口は2020年の274万人から、2070年には939万人と、3.4倍まで増加すると推計されています。

この結果、外国人の占める割合は2.2%から10.8%まで上昇することが予測されています。

日本の将来推計人口



出典：国立社会保障・人口問題研究所 日本の将来推計人口 [出生中位・死亡中位をベース] (令和5年推計)



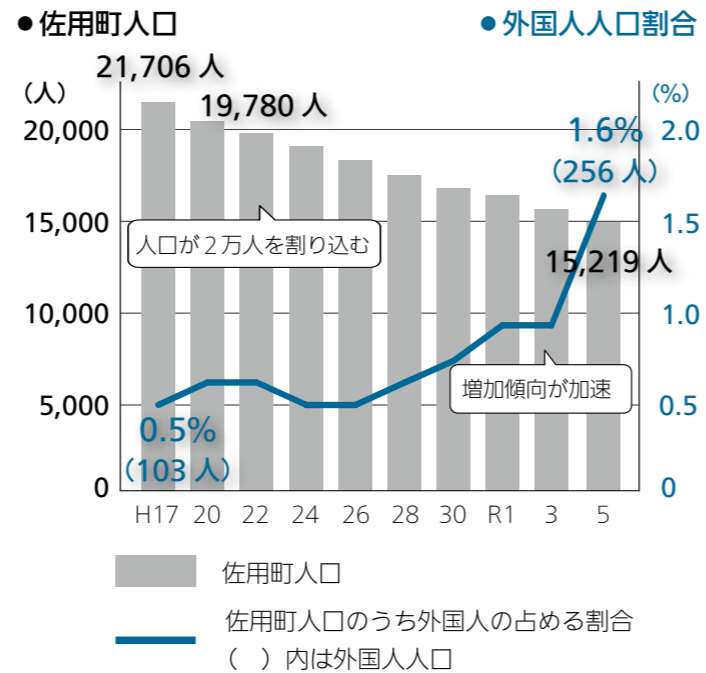
■佐用町在住の外国人の国籍

国籍	人数
ベトナム	97人
バングラデシュ	42人
タイ	23人
インドネシア	18人
ネパール	14人
中国	13人
ミャンマー	12人
韓国	12人
フィリピン	8人
台湾	5人
その他 (フランス、パキスタン、ブラジルなど)	12人
合計	256人

※佐用町に5人以上が在住している国のみ表示

佐用町の人口推移

合併当時21,706人いた佐用町の人口も、令和5年10月末には15,219人に減少しました。一方で、人口に占める外国人の割合は近年急増しています。



※調査対象は各年度3月末
令和5年度は10月末時点(住民基本台帳)

以前、町内に住む多くの外国人は、町内の企業に就労している技能実習

外国人の人口は増加傾向

佐用町の人口は戦後の昭和22年の38,947人をピークに減少し続けています。特に、佐用郡の4町が合併した平成17年以降は、少子高齢化で減少傾向が加速し、18年間で6,000人以上減少しました。さらに、町独自の人口推計では、2045年には人口が10,000人を割ることが予測されており、人口減少対策は町の大きな課題の一つです。

また、国籍をみると、ベトナム人の97人やバングラデシュ人の42人をはじめ、大半は東南アジアの国から来日しています。そして、多くの人は学業や就労、技能実習などが目的のため、年齢層が低く、8割以上が35歳以下となっています。

外国人の人口は増加傾向

生などで、人口は100人前後で推移していましたが、しかし、ここ数年は「佐用日本語学校」の開校や、企業の技能実習生などの受け入れの増加、移住者の増加などによって、外国人の人口は急増しています。結果、令和5年10月末現在、佐用町全人口に占める外国人の割合は、平成17年の約3倍となる1.6%となっています。

人口は1万人を割る予測

佐用町は、少子高齢化の影響で人口減少が町の大きな課題となっています。そんな中でも見かけることが多くなった外国人。実際にどの国から来て、どのくらいの人が佐用町で暮らしているのでしょうか。

外国人の人口割合が約3倍に

第1章

佐用で「暮らす」外国人



三河電機(株) ^{ゆきなり} 竹野 幸成 さん

夜勤の人出不足がきっかけで、平成17年から技能実習生を受け入れ、現在は27人のベトナム人が勤めています。

実習生は、みんな「目的」があるので、一生懸命働いてくれます。また、毎年入れ替わりがありますが、先輩が後輩に仕事だけでなく、日本での生活を教育してくれることが、長年実習生を受け入れているメリットです。外国人の働き手はまだまだ必要になってくるので、彼らが働きやすい町になることを願っています。

＋ 実習生同士で教育してくれています



(株)ソーイング三日月 ^{のりかず} 宮本 憲和 さん

学生の制服などを作っている当社は、30年以上技能実習生を受け入れています。現在は、ベトナム人8人と中国人6人の合計14人が勤めていて、会社近くの寮で共同生活をしています。

この業界は人手不足なので、手先が器用で覚えも早く、一生懸命働いてくれる実習生にはとても助かっています。

彼らが日本の生活に慣れ、安心して働いて、健康に帰ってもらえるように従業員みんなでフォローしています。

＋ みんなでフォローして働きやすい環境に

第2章

佐用で「働く」

町の産業を支える担い手に

町内では、主にアジアを中心とした国々の人たちが、働き手が不足している町の産業を支えています。今後も人口減少によって、介護や福祉に携わる人手不足なども見込まれているため、外国人は今以上に欠かせない存在となります。

製造業を支える貴重な担い手

平成3年に国際研修協力機構(JITCO)が誕生し、その2年後には、経済発展を支援する目的で、職業上の技術や知識を身につけてもらう「技能実習制度」が創設されました。

また、令和元年には、国内で深刻な人手不足に悩む特定の分野において、一定の技能を有する外国人を受け入れることを目的に「特定技能制度」が創設され、

外国人が日本で働く環境が整備されました。

佐用町では、令和5年10月末時点で、町内で暮らす外国人256人のうち、約半数となる120人が技能実習生や特定技能外国人として仕事をしています。特に人出が不足している製造業の分野では、多くの外国人が働いており、企業を支える貴重な担い手となっています。

佐用町に住んでみてどうですか？



特別養護老人ホーム はなみずき
アリスト・ジャヌアルディ・アムリル さん
(インドネシア)

佐用日本語学校を卒業後、特定技能の「社会福祉士」の資格を取得し、佐用町で働いています。

佐用町のみなさんは優しく接してくれるので、ここでの生活を不便に思ったことはありません。



グローリープロダクツ(株) 佐用工場
ズオン・ティ・ガー さん
(ベトナム)

母国で日本語学校の先生になることを夢みて、働きながら日本語の勉強をしています。

佐用は、静かで空気が良く、安心して暮らせています。ホルモン焼きうどんも大好きです。



(株)ソーイング三日月
^{ヘキ カイイ} 薛 海瑛 さん
(中国)

日本のアニメが好きなことと、日本で働いて家族の助けになればと思って働いています。

休みの日は、同僚たちと味わいの里三日月まで新鮮な野菜を買いに行くことが楽しみです。



(株)ソーイング三日月
張 玲 さん
(中国)



グローリープロダクツ(株) 佐用工場
トロン・ティ・ホン・ニエン さん
(ベトナム)



フランス料理店を開業
コア・ラ・ターフル・ドゥ・ニッサッペラ
カフト・リオネル さん
(フランス)



社会福祉法人くすのき会 播磨園
チャン・ドアン・ジエウ・フォン さん
(ベトナム)

佐用に日本語学校を開校したのは、「日本語学校は地方にあるべき」という信念があったからです。東京や大阪などの都会にも日本語学校はたくさんありますが、なぜ地方なのか。それは、少子高齢化が進む地方に外国人の若者が来て生活することで、消費が生まれるだけでなく、空き家の有効活用や働き手不足に貢献できると考えているからです。

外国人の人口が増えているように、日本もこれからどんどん国際化が進みます。以前に比べて、外国人への偏見は少なくなってきたとは思いますが、まだまだ理解度が低いと感じることがあります。そのためにも、もっと日本人も外国人とコミュニケーションをとって「外国人との共生の良さ」をわかってもらいたいです。そうすることで、日本はもっと良い国になると思っています。

私も元々は留学生で、学生時代に、厳しく指導してもらいながら新聞配達をして、苦勞してきました。でも、そのおかげで、今も日本で働いていると思っています。だからこそ、今の学生も苦勞をしてほしいと思っています。

佐用町のみなさんはとても優しい。でも「ダメなことはダメ」と厳しく指導して欲しいんです。それが留学生の成長につながり、どこでも活躍できる人になれると信じています。そして、こうした経験があると、卒業生たちは、佐用町で学んだことに感謝し、忘れられない「日本の古里ふるさと」になると思っています。私の夢は、卒業生と、ここで「同窓会をする」こと。そんな学生が育つような学校づくりをこれからもめざしていきます。



(株)Gニエル企画
ソングィョソル
成 暲 哲 社長

卒業生と 佐用町で同窓会を開きたい 日本語学校は地方にあるべき



地域の人に学ぶ様子を見てもらった”参観日”



佐用町は集中して勉強ができる環境です



毎日仲良く通学しています

留学生の“夢”と佐用町への“想い”



ファルク・モハンマド・アブドゥラ・アルさん
(バングラデシュ)

人の温かさにあふれた町で留学生生活を送れたことで、佐用町が第二の古里となりました。ここでのお世話になった人々には、感謝してもしきれません。佐用町での学びを生かして、世界に貢献できるような人材になるために、これからも勉強していきます。



ワイン・カイ・ジン・アウンさん
(ミャンマー)

建築士になるのが夢で、日本語学校で学んでいます。佐用町は、山や川など自然がとてもきれいで、気に入っています。

また、寮がある下長尾のみなさんが、声をかけてくれたり、お米や野菜を分けてくれたりするので、安心して暮らせています。



ドウィ・イマニアさん
(インドネシア)

今年、特定技能の「社会福祉士」の資格を取ることができ、来年からは「祐あいホーム上月」で働くことになりました。

「日本の四季」が好きで、日本で働きたいという夢があったので、日本語学校で勉強したおかげで夢がひとつ叶いました。

学生に厳しく指導してほしい

久崎小学校の跡地活用として開校した『佐用日本語学校』。めざすべき学校像と、大きな夢と希望を持って日本にきた留学生の夢や、佐用町への想いを聞きました。

78人の学生が描く日本での夢

平成27年に小学校の統合により閉校となった久崎小学校の旧校舎を活用した「佐用日本語学校」は平成30年に開校しました。開校当時の入学生は3人でしたが、充実した教育環境と佐用町での生活のしやすさが口コミで広がり、現在はバングラデシュ、インドネシア、ネパール、ミャンマーから来日した78人の留学生が日本語を学んでいます。

大きな夢と希望を持った留学生。その多くは、将来日本で就職したり、進学したりすることを目標に、日本語の勉強だけではなく、地域行事などにも積極的に参加して、日本人と交流を

住まいは空き家バンクを活用

旧久崎小学校には寮がないことから、留学生は「空き家バンク」を利用し、一軒家を賃貸して共同生活をしています。佐用町では、人口減少とともに空き家の増加も課題となっているため、空き家の有効活用にも貢献してくれています。

また、約8割の学生が町内のコンビニや飲食店、福祉・介護施設などでアルバイトをしており、若い世代が少なくなっている佐用町では、貴重な働き手にもなっています。

することで日本の文化も学んでいます。

佐用で「学ぶ」

夢を叶えるスタートライン



秀谷自治会長
尾崎 裕章 さん

↑ 集落の一員として自然体で接する ↓

(株)グローリーの社員寮に住む外国人と関係が深くなったのは、平成21年の災害以降です。災害の時に、寮が浸水した外国人に集会所へ避難してもらい、地域の人と2日間避難生活を送ってからぐっと距離が近くなりました。

それからは、公園の清掃、祭りののぼり立て、防災訓練などにも参加してくれています。秀谷集落は、高齢化が進み、若い人がいないのでとても助かっています。ほかにも、一緒に旅行に行ったりするなど、集落の一員として溶け込んでくれていて、地域のみんなども自然体で接しています。

↑ 素直でまじめな学生が不安を払拭 ↓

去年の春から、集落内の空き家が日本語学校の寮となり、10人程が生活しています。正直、初めのうちは、言葉が通じず、文化の違う人が近くで生活することに不安はありました。しかし、交流してみると、日ごろからあいさつをよくしてくれるし、予想以上に日本語を上手に話すし、素直でまじめな性格であることもわかったので、不安はすぐなくなりました。

秋になると、集落で生産している丹波黒枝豆の収穫を手伝ってくれていて、若く体力のある学生たちは大きな戦力になっています。



真盛自治会
高見 省二さん 高見 俊男 さん

↑ 地域のみんがまるで家族のよう ↓

妻の母が15年前に佐用町に移住していたことがきっかけで、私たちも3年前に宮崎から移住しました。ここに来てからも2人の子どもに恵まれて、家族8人で暮らしています。

移住したときは、見知らぬ土地での生活に不安はありました。しかし、この地域では、みんながみんなのことを知っていて、まるで家族のように支え合って暮らしている場所だと知りました。そのおかげで私たちもすぐに周りや打ち解けることができ、子どもたちも保育園や小学校でたくさんの友だちができて楽しく生活しています。



シャザド・クロムさん一家



日本語学校の学生にとっては、地域の人と話をすることが一番の日本語の勉強になります（日本語学校で行われた交流会）

第4章

地域と共に「暮らす」

地域に溶け込み互いに支える

今後、外国人が増えていく地域社会で、共に助け合いながら暮らしていくために、私たちは外国人とどう向き合っていくべきでしょうか。外国人と関わりのある地域では、すでに彼らが周囲に溶け込んでいる姿を見ることができました。

学生たちの期待に応える

佐用日本語学校がある久崎地域の「久崎地域づくり協議会」は、学校と地域がお互いが協力しあえる関係を築こうと開校当初から取り組んでいます。

初めは交流する機会が少なく、両者の距離はなかなか縮まらなかったようです。しかし、同協議会の芳原清和会長が「交流するたびに、学生たちが、勉強のために、もっと日本人と話したいと思っている」と感じ、学生が地域の人と交流できるように、行事などの参加へ積極的に声かけをするようになり、そこから徐々に深い関係を築いています。

佐用町で良い思い出作りを

今年の夏に開催された「高瀬舟まつり」では、母国のお菓子を販売したり、民族衣装を紹介したりしながら地域の人と交流をした日本語学校の学生。芳原会長は「せっかく佐用町で生活するんだから、佐用町の人とたくさん交流して、良い思い出をたくさん作ってほしい」と笑顔で話しました。



久崎地域づくり協議会
芳原 清和 会長

このまち 佐用が 私たちの ふるさと 古里です



第5章

佐用から世界へ羽ばたく

私たちができること

佐用町に住む多くの外国人は、地域に馴染み、佐用町民の一人として活躍していることがわかりました。この先、外国人にとっても、日本人にとっても「共に暮らし、支え合う」明るい未来のために、私たちに何ができるのでしょうか。

53カ国200人と交流

佐用町では、平成11年に旧上月町で設立した「佐用町国際交流協会」が、町民の国際理解を深める取り組みをしています。

協会では、ホームステイ事業を、家の縁側を「えんげ」



佐用町国際交流協会
中井 達也 会長

私たちの活動は未来のための下地作り

という佐用町の方言を使って『いなかのえんげ』と名付け、「普段通りの田舎らしい佐用町を過ごしてほしい」と願いをこめて活動してきました。これまでに53カ国約200人の留学生を受け入れ、国際交流を続けています。

そのほか、佐用町に住む外国人に日本語を教える「日本語教室」を開催しており、同協会の中井達也会長は「外国人が日本文化に慣れることで、日本人との距離が縮まればと、町

民と外国人との架け橋となっています。

国際理解のその先へ

町内の外国人の人口が増え、今後ますます国際化していくことが予測されるなか、中井会長は「町民が外国人と交流できる機会を増やすことで、お互いの文化を知ることができ、国際理解を深めることができる。そうすることで、佐用町で共に暮らしやすい地域社会や、若い世代が世界に目を向け、大きく羽ばたくことができる。私たちの活動はその下地作りです」と国際理解がもたらす未来への希望を語りました。



ホームステイ事業「いなかのえんげ」

保育園で異文化交流



トルコのケバブやパキスタンカレーなどの料理屋さんごっこをしたよ

上月保育園では、トルコ人とパキスタン人を父に持つ園児が在籍している縁から、世界の文化を知るための公開保育を11月10日に実施しました。

園児たちは、トルコやパキスタンの工芸品などの展示のほか、食文化を知るために「お店屋さんごっこ」などでお互いの文化を学びました。

上月保育園の藤木裕華園長は「普段から子どもたちは仲良くしているが、この保育を通して、さらに距離が縮まった。これからも視野を広く持てる子どもが育つように取り組んでいきたい」と園児たちの国際理解への手応えを感じていました。

秋の 三大イベント開催

猛暑が続いた夏を越え、秋の収穫が一段落した11月上旬、町内では、秋の三大イベントが開催されました。「文化の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「実りの秋」・・・各イベントでは、そんな秋を楽しむ多くの人でにぎわいました。



26団体303人が出演
244点の芸術作品を展示

文化祭



大収穫祭



約2000人が来場
5年ぶりに綱引きが復活



秋の佐用路に
500台の自転車が駆け抜ける



因幡街道・千種川 ロングライド in 佐用



文化祭写真撮影
平井大翔さん(上石井)
龍野北高校3年

10/28 姫新線利用の新たな取り組み 西播磨ドローンレース大会



町内外から約30人が参加し、ドローンを体験しました

西播磨県民局と姫新線利用促進・活性化同盟会は、姫新線の利用促進を目的に「西播磨ドローンレース大会」を上月体育館で開催しました。

姫新線を利用して参加した矢内竜成さんと渡辺千耀さん（ともに佐用小3年）は「広い場所でドローンを飛ばすことができて楽しかった」と笑顔を見せました。

10/28 地域に開けた施設をめざし 社会福祉法人平成福祉会 ふれあい秋祭り



近隣の駐車場が埋まるほど多くの人でにぎわいました

社会福祉法人平成福祉会は、5年ぶりに「ふれあい秋祭り」をハイム・ゾンネで開催しました。同法人が、「地域に開けた施設となるために、地域住民が集まって地産地消のものを食べてもらいたい」と企画されてきた同イベント。施設長の林弥生さん（中上月）は「予想以上の来場者で、開催してよかった」とほほえみました。

10/30 佐用姫さんの秋祭りが復活 佐用都比売神社秋季例大祭



氏子の小中学生にとっては年に1度の晴れ舞台

長年、町民から親しまれてきた佐用姫さん（佐用都比売神社）の秋季例大祭が開催されました。今年は3年ぶりに露店や奉納演芸として、のど自慢大会などが行われ、多くの人でにぎわいました。「浦安の舞」を奉納した小林唯さん（佐用中2年）は「緊張したけど、堂々と踊ることができた」と顔をほころばせました。

10/29 三日月地域の歴史に触れる みかづき地域武家屋敷マルシェ&ウォーク



地域住民が作り上げたイベントも今年で6回目の開催

三日月地域づくり協議会は、「みかづき地域武家屋敷マルシェ&ウォーク」を乃井野陣屋館で開催しました。会場では、地元消防団で結成されたバンドや県警音楽隊の演奏のほか、武家屋敷群を巡るガイドツアーなどがあり、来場者は三日月地域の歴史に触れることができた一日となりました。

地域が1つになるために 才金集落で「幸せの黄色い旗」



配られた旗を立てる森口自治会長（左）と片岡清次さん（右）

才金集落は、地域住民同士で助け合えるように、元気であれば家先に「黄色い旗」を立てるという新たな取り組みを始めました。

同集落の森口自治会長は「町が推している『幸せの黄色いまち佐用町』から思いついた。全戸に配布して、これをきっかけに住みみんなで助け合える地域になれば」と意気込みました。

地域で高齢者を見守る 長谷地域づくり協議会と駐在所が協力



対面で話をするのが、地域の見守りには大切です

長谷地域づくり協議会とたつの警察署横坂駐在所は、「地域の見守り活動」のために、1人暮らしの高齢者宅への個別訪問を行いました。

駐在所からは、架空請求詐欺などの啓発チラシ、地域づくり協議会からは手作りのブルーベリージャムを手渡し、「困ったことがあれば気軽に相談してください」と呼びかけました。

10/27 消防レンジャーに大歓声 消防署の消防レンジャーが保育園を訪問



消防署の職員がレンジャーに仮装し、悪役を退治しました

佐用消防署は、町内の子どもたちに消防の仕事を知ってもらうために「消防レンジャーショー」を利神保育園で行いました。

悪役の登場で泣き出す子どもがいるなか、消防レンジャーの登場に子どもたちは大歓声。ヒーローは「火の怖さや命の大切さが伝われば」と力強く話しました。

10/22 上月地域への愛着を深める 上月城ふるさと祭り



「上月太鼓」の力強い音が、天高く響きました

上月城ふるさと祭り実行委員会は、地域住民の交流と、地域への愛着を深めるために「上月城ふるさと祭り」を上月体育館で開催しました。

上月地域づくり協議会の岡本正幸会長は「多くの人に来場してもらえた。これからも、若い世代とも協力しながら、地域が元気になるイベントにしていきたい」と話しました。

11/11 家の繁盛を願う伝統行事

才金集落いのご祭り



実際の動画はこちら
(町公式 Instagram)

収穫のお祝いや家の繁栄などを願うとされる「いのご祭り」

才金集落は、子どもたちが各家を周り、軒先でいのご歌を歌いながら、わらを巻いて棒状にしたもの(わら鉄砲)を叩きつける伝統行事「いのご祭り」を4年ぶりに開催しました。

子どもたちを迎え入れた同集落の中嶋勝美さんは「子どもの元気な声を聞いて元気をもらった」と満足した表情を浮かべました。

11/14 みんなで仲良くできるかな

保育園児の人権教室



全身を使いながら楽しく運動をしました

龍野人権擁護委員協議会佐用部会は、南光保育園で「人権教室」を開催しました。

園児たちは、みんなで仲良くできるようになるために、人権キャラクター・まもる君が登場する紙芝居で人権を学びました。腰前心愛さん(東徳久)は「仲間外れの友だちがいたら、声をかけてあげる」と元気に答えてくれました。

11/6 高校生が地域課題を考える

佐用高校生と未来を考える「ミライカイギ」



役員職員が示した課題の解決策を考えてもらいました

町は、佐用高校普通科1年生を対象に、町の課題を正しく認識し、高校生なりの解決策を考える「ミライカイギ」を開催しました。

授業を受けた古川莉子さん(三日月)は「知らないことがたくさんあった。少しでも貢献できることがあれば」と、町の課題解決の探求に意欲をみせました。

11/12 交流を深める新たな企画

中安地域づくり協議会「ふれあい祭り」



手作りの紙ひこうき飛ばしに会場は大盛り上がり

中安地域づくり協議会は、住民同士の交流を深めるための「ふれあい祭り」を開催しました。

コロナ禍で住民同士が顔を合わせる機会がなくなったことをきっかけに、地域の若者や女性を中心となって企画された同祭り。紙ひこうき飛ばしなど、子どもが楽しめる催しを中心に、にぎやかな声で会場を包み込みました。

11/3 地域振興をめざし再対決

大収穫祭でホルモン麺対決



対決前にはお互いの健闘を祈る決起集会が行われました

「佐用ホルモン焼きうどん」「津山ホルモンうどん」「鳥取ホルモン焼きそば」が、お互いのご当地グルメを盛り上げるための「ホルモン麺対決」を町大収穫祭内で行いました。

300食を先に売り切った時間を競う対決に、佐用は津山に惜敗しましたが、今後お互いの地域を行き来しての地域活性化を約束しました。

11/5 防災ヘリが訓練に参加

町消防団合同訓練



南光スポーツ公園に着陸した防災ヘリを見学しました

町消防団は、佐用消防署と県航空機動隊との合同訓練を南光スポーツ公園周辺で行いました。

訓練では、山林火災を想定し、複数分団でのホースの中継や、情報伝達訓練として防災ヘリへの協力要請を行いました。「将来の夢は消防士」と話す反橋宗佑くん(上上月)は、間近で見る防災ヘリに目を輝かせていました。

11/3 地域住民の無病息災を願う

イチョウ祭り



しめ縄の飾り付けも住民自らの手で行っています

上町自治会は、地域住民の無病息災や家内安全を願う「イチョウ祭り」を開催しました。

今年も、樹齢千年以上の「大イチョウ」の幹を囲むしめ縄が、地域住民らの手作りで編まれました。片山郁彦同自治会長は「大イチョウは佐用町民の心のよりどころ。これからもこの木を大切に守っていききたい」と話しました。

11/4 西日本最大級の大会が開催

第32回ビスラカップ少女バレーボール大会



上月体育館で行われた開会式には全チームが集いました

全国から少女バレーボールチームが集う「第32回ビスラカップ少女バレーボール大会」が2日間にわたり開催されました。

コロナ禍前の規模に戻った今年の大会は、西は広島県、東は愛知県からの参加もあり、町内の3チームを含む81チーム約800人が参加し、町内各地で熱戦が繰り広げられました。



健康カレンダー

もの忘れ・心のケア相談など

場所：町保健センター

月日	内容	時間
12/21 1/4	デイ・ケア (精神障がい者社会復帰訓練事業)	13:30～15:30

健康福祉課 健康増進室 ☎82-0661

場所：龍野健康福祉事務所

月日	内容	時間
1/5	こころのケア相談 (要予約)	13:00～15:00
12/12 1/9	エイズ・肝炎相談 (要予約) HIV・肝炎ウイルス検査 (要予約)	13:00～15:00

龍野健康福祉事務所 ☎0791-63-5687

場所：町生きがいづくりセンター

月日	内容	時間
12/28	がんサロン・さよう (予約不要) がんピアサポート (個別相談・要予約)	14:00～16:00

はまなすの会 ☎079-277-2764
健康福祉課 健康増進室 ☎82-0661

場所：町保健センター

月日	内容	時間
12/21	もの忘れ相談 (要予約)	13:30～

高年介護課 地域包括支援センター ☎82-2079

赤ちゃんとお母さん

場所：さよう子育て支援センター

月日	内容	時間
12/11	0歳児教室 (7か月～1歳未満)	9:50～11:00
	0歳児教室 (2か月～6か月児)	10:20～11:30

健康福祉課 健康増進室 ☎82-0661

※乳幼児の健診や健康相談は、対象者に郵便でお知らせをしています。

休日救急当直医 12月

月日	医療機関名	電話番号
12/10	尾崎内科医院	77-0447
12/17	佐用中央病院	82-2154
12/24	佐用共立病院	82-2321
12/29	佐用中央病院	82-2154
12/30	佐用共立病院	82-2321
12/31	佐用中央病院	82-2154

健康づくりセミナーに参加してみてください

正しく学ぼう女性の健康

最近気分がすぐれない、やる気がでない、夜眠れないなどの症状はありませんか？また、目まい、動悸、肩こり、腰痛、胸の痛みはありますか？これらの症状は更年期障害かもしれません。女性の健康を正しく学び、元気な生活を送りましょう。



■生活習慣病にかかりやすくなる年代

日本人女性の平均閉経年齢は約50歳と言われ、この前後5年間が更年期と呼ばれています。閉経後の血圧上昇や脂質異常症、糖尿病などは女性ホルモンの分泌量低下と関係があります。これまでと同じ生活では、生活習慣病にかかりやすくなります。

■自分のため、家族のために健康な生活を

町健康づくりセミナーでは、産婦人科の医師をお迎えして、年代ごとの健康な過ごし方を学びますので、気になる人は参加してください。また、将来のため、家族のためと思われる人もご参加ください。

第5回 健康づくりセミナー

- 日時 令和6年1月25日(金) 午後1時30分～3時
- 場所 役場西館2階 防災会議室1
- テーマ 40歳を超えた女性の健康づくり 「更年期を軽やかに過ごすために」
- 講師 ウィメンズクリニックかみむら院長 上村茂仁医師

健康福祉課 健康増進室 ☎82-0661

column

こんにちは保健師です

幸せホルモンで心と体の健康維持を



健康福祉課 健康増進室 ☎82-0661

①安定した台の前に立つ (手すりなどにつかまっても可)
②右足を台の上にのせ、次に左足を台の上のせて立つ
③右足を下ろした後、左足を下ろす
※②と③の左右を替えて交互に繰り返す
階段1段を上り下りするイメージです。無理のないペースで、リズムののって行ってください。

心身の健康維持のためには、ストレスを上手に解消することが大切で、そんなときに有効なのが幸せホルモンです。その一つに「セロトニン」というホルモンがあります。セロトニンは、「安定」と大きく関わります。一定のリズムのある動作を繰り返すと、脳が「安定している」と感じ、その安定した動きを維持しようとしてセロトニンが分泌されます。セロトニンは精神の安定にも作用するため、不安やストレスを和らげます。一定のリズム運動としては、ウォーキングや自転車のペダルこぎなどがあります。寒い時期は、家での踏み台昇降運動(5分以上を目安に)などもおすすめです。

menu 栄養士の食育献立メモ 今月の献立

町栄養士のおすすめレシピ

ゆでキャベツとかにかまの甘酢

キャベツとかにかまを使って簡単にできる酢の物です。彩りもよく、おせちにおすすめの一品です。おせち作りにチャレンジして、気持ち新たに新年を迎えてみませんか。



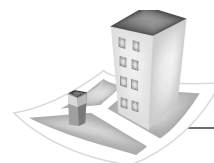
【材料(4人分)】

キャベツ	4枚 (300g)	
かにかま	4本 (80g)	
しょうが	1かけ	
A	酢	大さじ2
	砂糖	大さじ2
	ゆずの搾り汁	大さじ1
	塩	小さじ1/3

【作り方】

- ① キャベツは半分に切り、熱湯で2分間ゆでてザルにあげ、粗熱を取る。かにかまは軽くほぐす。Aは混ぜ合わせる。
- ② キャベツの半量を少しずつ重ねて四角に広げ、かにかま、しょうがの半量を真ん中に置き、左右を折りたたんで手前から巻いていく。
- ③ ②をそれぞれ4等分に切り、Aをふりかけ、10分以上おいて味をなじませる。

栄養価(1人分) エネルギー 52kcal 食塩相当量 0.9g



令和6年度（令和5年分）所得申告の改正点

「異なる課税方式」の選択が廃止されます

monthly information



税制改正により、令和6年度（令和5年分）から、町県民税における「特定配当等に
係る所得」や「特定株式等譲渡所得」の申告不要制度が廃止されます。

■「異なる課税方式」とは

「特定配当等に係る所得」や「特定株式等譲渡所得」を申告する時、その所得を町県民税では「申告しない」ことを選べる（所得税と町県民税で別々の方法を選べる）制度です。

令和6年度（令和5年分）からこの制度がなくなり、確定申告で申告したら町県民税でも「申告した」こととなります。

○ 住民税・事業税に関する事項

住民税	非上場株式の 少額配当等	非居住者の 特例	配当割額 控除額	株式等譲渡 所得割額控除額	特定配当等・特定 株式等譲渡所得の 全部の申告不要
円	円	円	円	円	○

確定申告書の、この欄がなくなります

●令和5年度（令和4年分）まで

確定申告で「特定配当等・特定株式等譲渡所得の全部の申告不要」欄に

○を記載

||

町県民税について「申告しない」
(町県民税の「合計所得」に合算されない)

●令和6年度（令和5年分）から

確定申告で申告した

||

町県民税でも「申告した」ことになる
(合計所得にも合算される)

問 税務課 町税対策室 ☎ 82-0662

知りたい! 伝えたい! 地域おこし協力隊

第59回

今号の隊員 やりわけ 鎗分 大貴



14時以降は落ち着きますので
ぜひお越しください

今回は、僕が販売に行っている水曜市を紹介します。水曜市は、神戸の元町商店街で毎月第3水曜日に開催されているイベントで、元氣工房さよの加工品や町で採れた野菜や果物などの販売をしています。

水曜市では、準備で商品を車から降ろしている段階から多くの人だかりができ、すぐに完売してしまいます。毎回お客さんに圧倒されながら、町のみなさんが丁寧に作られた品物を販売しています。加工品で人気なのは「めっちゃくちゃスッパイ梅干し」です。本当にびっくりするくらい売れます。

忙しいですが、お客さんには商品の紹介などといったしよに佐用町のことをアピールすることも欠かしません。お客さんから「いつも遠いところからありがとうね」など、温かい言葉をかけてもらえることも多く、隊員としてやりがいを持ちながら活動しています。

図書館

今月の新着図書から司書がおすすめする3冊を紹介します

新着本情報



『分水嶺の謎
- 峠は海から生まれた』

▶ 著者 高橋雅紀
▶ 出版 技術評論社

「その地形、どうやって出来たの？」ネット上の国土地理院の地図を使ってバーチャルな旅に出て、中国山地が出来た所以をひも解く。



『笠置シヅ子自伝歌う自画像
- 私のブギウギ伝記』

▶ 著者 笠置シヅ子
▶ 出版 宝島社

NHK朝ドラ「ブギウギ」の主人公笠置シヅ子が、自身の人生を自らの言葉でつづった唯一の書。



『吉村昭と津村節子
- 波瀾万丈おしどり夫婦』

▶ 著者 谷口桂子
▶ 出版 新潮社

数々の名作を世に生み出した夫婦の出会いから結婚、大成、そして死別…。その波瀾万丈の物語。

Library info

☎ 82-0874

開館時間 午前10時～午後6時
月曜日・祝日休館

図書館からのお知らせ

12月、1月の休館日

- 12月 11.18.25.28~31
- 1月 1~4.8.15.22.29.31

読書で交流しましょう

「読書会」参加者募集

「読書会」とは、共通の本を事前に読み、その本の感想や意見を自由に話す会です。

- 日時 2月14日(木) 午前10時～
- 場所 さよう文化情報センター
- 募集人数 10人
- 参加費 無料
- 対象図書 「i」 西加奈子 / 著
(本は図書館で用意します)
- 申込締切 12月27日(木)



年末特別貸出

12月14日(木)～27日(木)



貸出冊数制限なしで3週間借りられます。

おはなし会

■ ボランティア

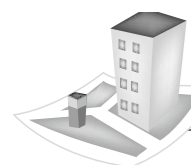
「あそばせ隊」

- 対象 幼児・小学生
- 日時 毎週土曜日
午後2時～2時30分



■ 図書館司書

- 【小さい人（5歳以上）】
- 日時 毎週日曜日
午前10時30分～11時
- 12月のおはなし
「笠地藏」
- 【大きい人（小学3年生以上）】
- 日時 毎週日曜日
午前11時～11時30分
- 12月のおはなし
「クリスマスのまへのぼん」ほか




令和5年4月から自転車用ヘルメットの着用が努力義務化しています

ヘルメットの購入でポイントを還元

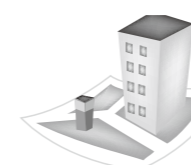
monthly information



県では、全ての自転車利用者にヘルメットの着用が努力義務となったことに伴い、購入費の一部をポイントで給付します。申請には、購入店の領収書や新品の状態でのヘルメットの写真が必要です。申請開始まで大切に保管しておいてください。

- 対象者
 - 住所地在兵庫県の、以下に該当する人
 - ・高齢者（65歳以上）
 - ・学生（19歳～29歳）
 - ・子育て世代（18歳までの子と親）
 - ・はばタン Pay+ や各市町が発行するプレミアム付き商品券を利用したの購入、フリマサイトなどでの購入は対象外
- 申込方法
 - 右の専用フォームから ▶  お申し込みください。
- 年齢の基準日
 - 令和6年3月31日時点
- 還元されるポイント額
 - ヘルメット1個につき上限4,000円相当
- その他
 - ・10月3日以降に購入した安全基準を満たしたものが対象

問 自転車ヘルメット
購入応援コールセンター
☎0120-134-076



ごみの直接持込は前日までにご予約をお願いします

年末年始の業務日にご注意ください

monthly information



年末年始は大掃除などで、クリーンセンターが大変混み合います。品目により持込先が異なりますのでご注意ください。また、ごみの持込には前日までの事前予約が必要です。必ず電話予約をお願いします。

■埋立ごみ以外

(もえるごみ、もえないごみ、粗大ごみ、布類、紙類、ビンなど)



にしはりまクリーンセンターへ

- 搬入受付時間（月曜日～土曜日）
午前8時30分～午後4時30分
- 年末年始の休業日
12月31日㊤～1月3日㊤
- 持込予約 ☎79-8550

■埋立ごみ（陶器・ガラスなど）

使用済小型家電



佐用クリーンセンターへ

- 搬入受付時間（月曜日～金曜日）
午前9時～正午、午後1時～4時30分
- 年末年始の休業日
12月29日㊤～1月3日㊤
- 持込予約 ☎82-0293

問 佐用クリーンセンター ☎82-0293

西はりま天文台だより

第33回 神話のない「さんかく座」



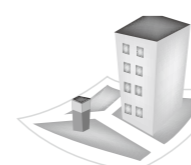
アンドロメダ銀河とすばるとさんかく座

星座というと、ギリシャなどの神話の話と結びついていて、いわゆる「神話」があるものと考えている人が多いことでしょう。しかし、現在使用されている88の星座の中には、神話のない星座もあります。

今回のさんかく座もその一つです。星が三角型に並んでいるところなんて、もちろん、夜空の中にもたくさんあります。しかし、秋の夜空で比較的明るい星が少ない中で、肉眼でもわかる明るい三等星3つという事で、三角として印象に残りやすいようです。このためか、さんかく座は紀元前からあったことが知られており、古代ギリシアの天文学者プロマイオスがまとめた48個の星座の中にも入っています。

さんかく座は、アンドロメダ座の横にあるので、アンドロメダ座を目当てに探すと見つけやすいでしょう。12月の初めは夜8時過ぎごろに、頭の真上近くにあるので見つけてみてください。

兵庫県立大学 西はりま天文台
准教授 石田俊人



寒い季節が訪れました

寒さから水道管を守りましょう

monthly information



寒さが厳しくなる12月から2月下旬ごろまでは、水道管や蛇口などの給水装置の凍結が多くなる時期です。寒さに備えて水道管の防寒対策をお願いします。



■修理費用は自己負担です

家に引き込んだ水道管や蛇口などは個人の所有物のため、破損してしまうと所有者が修理費用を負担しなければなりません。

■露出している水道管は要注意！

露出している水道管は、凍結しないように保温材（布きれ・発泡スチロールなど）で覆いましょう。その際、濡れないようにその上からビニールテープを巻きましょう。

■長期不在時は、水抜きを忘れずに

長期間水道を使用しない場合や、空き屋を所有している場合は、凍結防止のため、宅内の水道を水抜きして止水栓を閉めておきましょう。

また、湯沸かし器などがある場合は、給水管などが凍結する恐れがありますので、水道管と同様に水抜きを忘れずにおこなってください。

問 上下水道課 ☎82-0481

募集 invite information

子ども体験くらぶ
世界最大級の
研究施設を学ぼう



町にある世界に誇る研究施設「SPring-8」「SACLA」「県立大学西はりま天文台」の見学ができます。親子での参加も可能です。

- 日時 12月26日㊤
午前9時45分～午後4時
- 集合場所 さよう文化情報センター（各施設へはバスで移動します）
- 参加料 無料
- 募集人数 20人

☎生涯学習課 生涯学習推進室
☎82-3336

成年後見・くらしなんでも相談会

財産や契約、将来のことなど、成年後見に関する困りごとの相談に、専門職の司法書士が無料でご相談に応じます。

- 日時 1月23日㊤
午後2時～4時
- 場所 役場西館1階研修室
- 参加費 無料（1週間前までに要予約）

☎西播磨成年後見支援センター
☎0791-72-7294

その他 others information

12月はSTOP滞納 徴収強化月間

町税や公共料金は、町の運営に欠かせない大切な財源で

す。定められた納期限までに納めましょう。納期限日までに納付ができないと思ったら、早めに税務課収納管理室へ相談してください。

☎税務課 収納管理室
☎82-0662

『「誰か」のことじゃない』 12月4日から10日は 第75回人権週間

「基本的人権」は、人間が人間らしく生活するために、生まれたときからだれもが持っている権利です。

「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、もう1度考えてみましょう。

☎生涯学習課 生涯学習推進室
☎82-3336

マイナンバーカード受付 今日の日曜開庁日

- 日時 12月10日㊤
午前9時～午後3時
- 場所 住民課
- ☎住民課 戸籍住民相談室
☎82-0660

子どもの年末年始の急病時の対応

子どもは急な発熱や体調の変化が起こりやすいものです。年末年始に緊急に病院へ行く必要があるか迷ったときは、次の電話相談窓口を活用しましょう。

県子ども医療電話相談

☎#8000
▼ダイヤル回線やIP電話の場合
☎078-304-8899
（月曜日から土曜日は午後6時から翌朝8時まで。日曜・祝日・年末年始は午前8時から翌朝8時まで）。

播磨姫路小児救急医療電話相談

☎079-292-4874
（月曜日～土曜日の午後8時から午前0時まで。日曜祝日・8月15日・年末年始は午前9時から午後6時、午後8時から午前0時まで）

移住相談窓口 西播磨暮らしサポートセンター

西播磨県民局では、移住相談窓口「西播磨暮らしサポートセンター」を設置し、移住コーディネーターによる移住に関する相談・情報提供や、

都市部での移住相談会などを行っています。

- 場所 西播磨総合庁舎
県民ホール内
- 相談時間
平日 午前9時～午後5時
- ☎西播磨暮らしサポートセンター
☎0791-58-1252

コミュニティバス船越線 「道の駅ちくさ」まで 路線を延長しました

町コミュニティバス船越線の船越方面は「名目津和停留所」が終点でしたが、11月から「道の駅ちくさ」まで延長して運行しています。ぜひご利用ください。

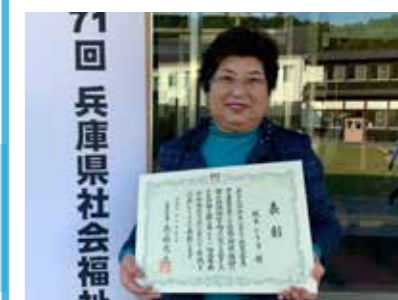
※道の駅ちくさ以外の停留所の出発・到着時間に変更はありません。



☎企画防災課 まちづくり企画室
☎82-0664

受賞 award information

兵庫県知事表彰 (永年勤続民生委員児童委員)



梶本 とき子さん（庵）

長年にわたり、主任児童委員として、地域の子育てや児童の福祉のために活動されてきたことが表彰されました。

近畿防犯協会連絡協議会 防犯功労者



西島 壽男さん（下徳久）

長年にわたり、少年補導員として、地域の安全活動のリーダーとして活動されてきたことが表彰されました。

編集後記

今月号の特集は、春先からテーマを決めていて、日本語学校を中心に長期にわたり「地域と外国人の関わり」を取材してきました。日本語学校の生徒は、いつも写真を撮る私をすぐに覚えてくれて、どこで出会っても、にっこり笑ってあいさつしてくれるようになりました。そんな彼らが「もっと佐用町を好きになってもらえたら」と思いを込めています㊤

個人情報のため非公開

名前

年齢

行政区

お悔やみ申し上げます

個人情報のため非公開

名前

保護者

行政区

お誕生おめでとう

10月11日から11月10日届出分（敬称略）
戸籍上の漢字が表記できない場合があります

戸籍の窓口

11人のうごき

11月10日現在（ ）内は前月比

人口	15,201人	(-22)
男	7,323人	(-18)
女	7,878人	(-4)
世帯数	6,830戸	(+3)

出生	2人	死亡	33人
転入	19人	転出	9人

名前

年齢

行政区

個人情報のため非公開

特産品への愛着と地産地消を

令和5年 給食メニューコンテスト

昨年から始まった給食メニューコンテスト。町学校給食センターでは、子どもたちが地元特産品への愛着を深め、地産地消の食育を推進するために開催しています。

今年のテーマは、佐用もち大豆だけではなく、佐用町の代名詞とも言える「ひまわり」から作られた、「ひまわりオイル」を使ったメニューを募集しました。

小中学生78人の応募の中から選ばれた、「みなさんにも試してほしい」優秀なレシピを7つ紹介します。

今年のテーマは
「佐用もち大豆」製品
&
ひまわりオイル製品



◀詳しいレシピは、町ホームページに掲載しています



ひまわりうどんと
豆乳みそグラタン

佐用町長賞
佐藤 好さん (上月小2年)



ひまわりうどんの
みそハンバーグ

給食センター賞
福岡 琴葉さん (南光小6年)



貝だくさんオムレツ

光都農業改良普及センター所長賞
竹野 結月さん (南光小6年)



疲れも吹っ飛ばす
炒り豆腐

JA兵庫西佐用営農生活センター長賞
長井 柗磨さん (南光小5年)



もち大豆の
ヤンニョムチキン

元気工房さよう賞
坂井 帆香さん (上月小5年)



厚揚げの
みそチーズ焼き

元気工房さよう賞
大内 玲文さん (上月小5年)



ひまわりきな粉
唐揚げ

元気工房さよう賞
伊東 彩希さん (上月小5年)

今年の給食コンテストも、よく考えてある優秀な作品ばかりで、審査員はみなさん頭を抱えていました。全部のレシピが紹介できなくて、本当に残念です。

紹介したレシピは絶品なので、みなさんも町の特産品を使って、作ってください。



町学校給食センター
栄養教諭 村上 志穂